

福生町議会協議会記録

昭和三十四年一月八日（才一開臨時会終了後）福生町議会協議会を福生町役場に招集した。

出席した議員は次の通りである。

田村利一	渡井明	中西虎造	瀬古清造
村尾四郎	米泉薫	中森五一	西村光人
石川信義	森田幸造	山下幸三	森田誠重
並木秀	清水五市	井上頼太郎	飯塚実知
石川常太郎	村尾禮吉	飯野富十郎	森田茂一
田村祐一	高橋三郎	大久保一郎	高橋彦市

説明のため出席した者

町長 秋山誠一	助役 川達金吉	収入役 大野忠一
総務課長 奥中茂代次	建設課長 末廣橋本孝至	衛生課長 森田猛

総務課長 高水 求
教員長 橋本 兵太郎

産業課長 田嶋 二

水道課長 眞田

眞

一本会の書記は次の通りである。

書記 上野 重勝 生子 玄利

議長 千原 三時 三十分開会する。

一失対労働者の年末手当について

「町長 失対労働者の年末手当については秋多町は二、三〇〇円と云うことと秋多
からも大分話がきいたので 栃まも秋多にならうと暮の二六日に二、三〇
円も九三名に支給し、貸付については既貸付で未返済分を差し
引いて八七名分に貸付をいたした。

支給の内容は次の通りである。

羽村町 栃ま町 秋多町 二、三〇〇円

瑞穂町

二、五〇〇円

東京都西多摩郡福生町役場

五日市

二、五〇〇円

日の出

二、五〇〇円

青梅市

二、七〇〇円

「才四番 今までは秋多町が先に決めたが今一回はこちらで決め又支給
額が議決以上である点は甚だ芳しくないものである。

一自治会館の建設について

「議長 本件について提案いたします。

「才四番 自治会館の建設について能野橋の前の場所に建てることは反対であ
ります。他の市町村等に於てもこれから発展するような場所に
建てられているので、この様な場所に建てることは反対であります。

「議長 議員の発言に対しては町長、助役、或は課長からも今少し積極的な
説明を願いたい。

「尚道路舗装工事については六月以内であれば調査をして補修を

させるべきであります。村尾氏等の道路については交通が頻繁で
施工上にも困難があり多少工事に影響があったのではないかと。材料
の不足とか工事の粗悪でなく、交通頻繁のため多少亀裂等を生じ
たものと思われまうので即ち承を願いたい。

必用信

私としても自治会館の敷地については反対がありません。

道路の状態をみても解る通り、牧場等の通りは今後益々発展する
可能性がありこれに面したとてに造るべきで、廃道となるようなと
ころに造るのでなく、今少し発展し、又利用価値のあるところに場所を
変更するようにしたい。

山下

都内ミミズの公民館の場合にはあまり繁華な所にはなく、騒音等のないよう
な閑静なところに設けられ、水豊かな公民館活動の出来るようなところに
設けられており、そのような見地から選定せられたい。

試案として上水向うの田地「」程を買上げ、オミ小學校の敷地の土を運

東京都西多摩郡福生町役場

んで埋めたりよいのではないかと。

大久保 議会に於て付託されて、總務委員会が選定したもので、若し折衝の課程に
あって困難があると云うことであるならば他の場所に移すことも考え
られるのでこれについて決定を願いたい。

毒田氏 郡の自治会館と云うことであるか、或は公民館と云うことか、説明を願いたい。

町長 自治会館と云うことであれは補助金もあるが、公民館と云うことでは補助が
ないので自治会館とし、建設後は使用規定を定めて管理は町でやってや
くようにしたい。

田村祐 町長の選挙公約は公民館の設置であり、非常に大きな問題である。

理事者としては事業家と同じような考えで、今少し積極的にやって頂きた
い。土地交渉が遅れているとか、このような問題となるので、今少し積極的に
実施に移すよう願いたい。

町長 私もよく考えて、邁進してやきたいと考えています。

「中森 総務委員会が審議がまずなければ建設委員会をつくってやってはどうか。敷地としては清水寛三氏のところかよいのではなか。

「米永 郡の公民館としては駅がうしろ分のところの造るべきと思います。

「この場合は繁華街でなくても便がよく、目黒区公会堂の場合でも都電バス女通の便かよいので、当町としても福生駅の半信駅を中心として、たけに定めるべきである。

「沢村 町造りの考案として或博士の語ではそのようなものは繁華一街を通るようにして、その町の発展がある。町の繁華街に造ってはそこから歸つてくるもの、町の発展上良くないことであり、私もそのような観念で賛成しないものであります。

「並木 この問題については全議員の了承は得たのですか。

「最初映画館の裏と云うことであったが、土地の価額の裏で行なやみ他の場所と云うことになり、自治会館にするという話があり、最近

「は都の補助金も多くあると云うように状況が変り、総務委員会として付託されたので敷地について交渉を進めており建築する建物も鉄筋コンクリートでなければならぬと云うことであり、今一度総務委員会に検討をして戴きたいと思ひます。

「大久保 総務委員会に一任と云うことであればよいと考えますが更に議会の諮ると云うことであると難しい問題であり、遅れる一方でありますから

「今までの交渉が悪いならば他に候補地をあつてやられるようお願い。

「中森 別個の委員会で行うというのか。

「海井 三年間の歳月を費しまたおれないが最初の予算はとうなつたか。

「町長 最初公民館は仕期中に造りたいと考え、当初は少規模のものから学校を先に公民館は後にしたいと考え、当初は少規模のものを考えており、たが他の公民館等を視察した結果では木造は

あまりよくなないので更に収容人員等も考え鉄筋といたもので、公民館は集合所ではなく公民館活動が出来るようになってはならないので大人数の会議室を造り更に他方の会議室等も造りたいと思つます。そのようなことから又大災害防止の考へ方も鉄筋でなくてはならないので木造でやることは出来ない。この様なことから考へ方が變つてきたものであります。自治会館より更に支の考へ方は図書館等もあつたりつて足す。柵にも考へてあります。現在では「」名程に入るホールとスプーじ「」で。坪程な水に指定室及び中会議室を入れると。坪くらいとなり全般で。坪程なので建築費も相当額となります。幸に一千万程都補助があります。水は良いものが出来ると思つます。

「法中」ハタヤ村のまとまりはどうか、賛成は得られるか

「中長」大体の考へ方は出来る限り関係ヤ村の協力を求められることに賛成を

東京都西多摩郡福生町役場

得てあります。細い金額の点も早急に決のたいと思つます。

「山下」この問題は期間が長くなつてゐるのでこのような意見があるのであつて要は中長が今から積極的に努力をされることだと考へます。

「中森」咄合接衝してゐる金額はこのくらいであるか。

改良

福生町議会協議会記録

日時 昭和三十四年七月十日午後八時

場所 福生町役場

出席議員は次の通りである。

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| ① 斎藤 眞一 | ② 高橋 千春 | ③ 渡 井 明 |
| ④ 磯 村 武夫 | ⑤ 津 水 幸市 | ⑥ 網 岡 晋一 |
| ⑦ 益 本 益夫 | ⑧ 西 村 光人 | ⑨ 大 久 保 一 郎 |
| ⑩ 米 泉 董 | ⑪ 山 下 久 吉 | ⑫ 中 西 虎 雄 |
| ⑬ 高 水 求 | ⑭ 村 野 弘 | ⑮ 斎 藤 傳 |
| ⑯ 岸 茂 | ⑰ 渡 辺 健二 郎 | ⑱ 平 井 賢 治 |
| ⑲ 吉 田 清 | ⑳ 山 下 幸 三 | ㉑ 高 橋 彦 市 |
| ㉒ 瀬 古 博 雄 | | |

説明員は次の通りである。

町長 坂 山 誠一
町 役 川 淺 金 吉
町 役 大 野 忠一

